

学 ぶ 楽 し さ 無 限 大 !

自由大学通信

Vol.5 平成 16 年 8 月 30 日発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 武蔵野市吉祥寺本町 2-5-10 TK 吉祥寺ビル 8F
Tel : 0422-20-6340 Fax : 0422-20-6341 E-mail : jiyuu@parkcity.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.jiyu-musashino.org/>

10月に五大学共同講演会開催！

今年は記録的な暑さとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

9月からは後期の授業が始まります。今号では、秋に開催する五大学共同講演会（3頁）や自由大学生限定の講座（4頁）、大学の公開講座（5頁）についておしらせします。また、前期に自由大学生のみなさんが寄付講座などで学習している様子を紹介します。

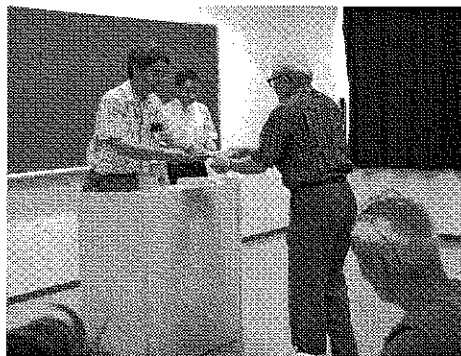
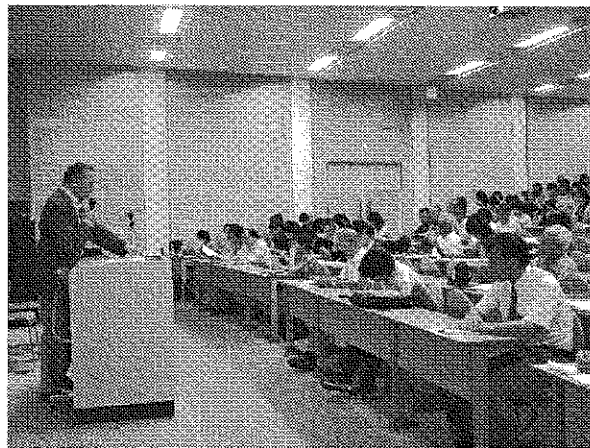
4月開講の寄付講座が2講座ありました。

東京女子大学では「比較文化—戦争・平和・人権—」をテーマに、コーディネーターの黒沢文貴教授をはじめ多彩な講師陣による17年1月までの通年講座が開設されました。7月14日には特別教養講座で元国連事務次長の明石康氏の講演があり、寄付講座受講生も聴講しました。

日本獣医畜産大学では昨年度に続き、「人間動物関係論—ヒトと動物の共生社会をめざして—」をテーマに、池本卯典学長の講義など全14回の講義が行われました。新1年生とともにペットの栄養や野生動物について幅広く講義を受けた受講生のみなさんには7月13日に、コーディネーターの松木洋一教授から修了証が手渡されました。

◆寄付講座とは…企業や個人が大学に奨学寄付金を導入して開設する時限付特設講座です。武蔵野市は平成11年度に自治体としてはじめて開設して以来、今年度後期開講の4講座で17講座を数えます。

武蔵野市寄付講座(東京女子大学)



武蔵野市寄付講座(日本獣医畜産大学)

各大学 4回ずつ全20回、五大学をめぐる五大学共同教養講座が、6月から11月にわたって開催されています。①6月・武蔵野大学「川端康成の文学」→②7月・日本獣医畜産大学「共生の世紀と動物資源」→③9月成蹊大学「現代の環境問題をどのように考えるか」→④10月・東京女子大学「自然の変容と回復の努力」→⑤11月・亜細亜大学「現代のテロリズム—国際テロを解剖する—」と各大学の雰囲気味わいながら幅広く学ぶ講座です。

自由大学に学ぶ(自由大学生を紹介するコーナーです)

ユニークな大学 日本獣医畜産大学

北町3丁目 田辺則生さん(62歳)

今年も日本獣医畜産大学で受講の機会を得ることが出来ました。講義の中で、犬、猫、チンパンジー、タマちゃん等動物達や広大な草原で働くモンゴルの子供達など出てきますが、先生方は“この子達”と同じ言葉で指し示し表現していることが多い。確かに、考えてみれば、生命は連綿とした継続の結果、今、ここにこの私の存在があるためには、ビッグバンから全てが始まったとすると、そこから、切れ目なくつながる一本の糸がなければなるまい。そしてそれは、ヒトも、犬も、猫も、馬も牛もそして山川草木全てがそれぞれに同じ連なりである筈。同じ時間をかけて、只今現在ここに、同時に、存在しているといえる。それぞれが、他の生命を頂くことで自分の生命を生きながらえる。それが必然であるからには、無駄なく、有難く頂くべきであろう。

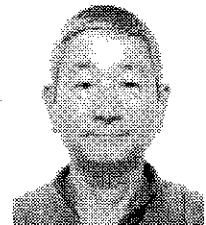
食品科学科では、食の文化論を通じて、猿人から始まるヒトと食物との関りあいを学んでいます。間口は広く奥行きは深く、先生への畏敬の念は強くなるばかり。

獣医学科での受講の時、その講義の部屋へ行く途中ふと前の部屋の扉を見ると霊安室。正直ドキッとした。でも一瞬の後には感激していた。ヒトも動物も同じく精一杯生きている。精一杯生きている生命の終焉も又、必然としてある。その生命をたたえいとおしむ。その気持の共有が必要なのではないだろうか。

ショッキングな話も聞いた。考えてみたことも無かったが、日本には乳牛のオスはほとんどいないのだという。確かに乳を出し肉も食べられるとなるとメスがいいだろうとは思いますが、現状は想像も出来ないほどのようだ。ヒトで問題になっている生殖操作が、牛の世界では疾うの昔に確立され日々改良を加えられ世界に冠たる技術となっているとの事。このままで良いのだろうか。利益追求、効率、あるいは物もしくは財としての視点。勿論、より安く供給することで皆が恩恵を受けているという論理はあるだろう。哀しみに潤む牛の目、仔もいないのに出る乳、通常一頭産まれる生殖行為が、遠く離れたもしくは既に亡くなったオスの精子によって何頭ものクローンが誕生する。しかもメスのみ。怖いと思うほうが異常なのだろうか。

人間の驕り、それが今絶滅していった種の怨念の響きで、人間にもどってきているのではないだろうか。自分達の利便性の追及のよって、多大な他の犠牲を強いてきた事への埋め合わせをしなくてはならなくなってきたのであろう。ダモクレスの剣の下に、食物連鎖の頂点に立つと思いが上がった人類は、頭を差し伸べ虚心に考えるときがきたのかもしれない。

2004. 7. 20



事務局よりお知らせ

講座情報1

武蔵野地域五大学共同講演会2004

自由大学履修対象科目
4回以上出席で0.5講座

五大学共同講演会は、五大学を代表する講師による連続講演会です。今年度の基調講演は、武蔵野在住である政策研究大学院大学副学長、西本晃二氏が「ルネッサンスと現代—日本人の視点から—」をテーマに行います。6回ある講演会のうち全て希望することも好きな講演を選ぶことも可能です。申込み順ですのでお早めにご連絡ください！！

自由大学生は、電話でお申込みください。→ 事務局 ☎ 0422-20-6340

自由大学ホームページからもお申込できます。→ <http://jiyu-musashinno.org>

(トップページ⇒科目一覧⇒「受講申込」ページで申込)

9月24日(金)必着

統一テーマ 共生の世紀へ — 知の探求と創造 —

①基調講演 10月7日(木) 午後6時30分～

武蔵野公会堂ホール 定員350名

「ルネッサンスと現代—日本人の視点から—」

講師：西本晃二氏(政策研究大学院大学副学長)

	講演日時	場 所	サブテーマ	講 師	定員
②	10月15日(金) 午後6:00～ 7:30	日本獣医畜産大学	食の安全性と知の新基軸 (ニューパラダイム)	村田 富夫氏 (名誉教授)	200名
③	10月16日(土) 午後1:30～ 3:00	成蹊大学	地球と人間の共生—環境 問題とエネルギー・資源—	小島 紀徳氏 (工学部教授)	280名
④	10月18日(月) 午後0:50～ 2:20	亜細亜大学	いま子どもたちに求めら れるもの—比較社会の視 点から	栗原 孝氏 (国際関係学部 教授)	600名
⑤	10月29日(金) 午後4:30～ 6:00	東京女子大学	女性とスポーツの過去と 未来	曾我 芳枝氏 (現代文化学部 助教授)	480名
⑥	11月8日(月) 午後1:00～ 2:30	武蔵野大学	楽しさと生き甲斐—現代 社会の状況と関連させて —	今村 浩明氏 (人間関係学部 教授)	250名

■受講料：無料 ■定員：各講座ごとの定員(申込順)

詳細については同封のチラシをご覧ください。チラシ裏面に講演の要旨があります。

自由大学講座

この秋、自由大学生限定の自由大学講座を行います。成蹊大学文学部国際文化学科の6名の先生が、それぞれの専攻分野における最先端の研究状況をわかりやすく解説し、自由大学生のみなさんと意見交換をします。これを機会に大学の先生と交流を深め、学問の秋を楽しみましょう！

共通テーマ 国際文化研究の現在(コーディネーター:三浦國泰教授)

期間 9月29日～11月10日の毎週水曜日(全6回) ※11/3を除く

時間 午後1時～2時30分 **場所** 自由大学交流センター

受講料 無料 **定員** 25名(超えた場合抽選)

申込み 自由大学事務局に9月15日までに電話又はホームページで申込み

(電話⇒0422-20-6340 HP⇒ <http://www.jiyu-musashino.org/>)。

自由大学履修対象科目 4回以上出席で0.5講座

期 日	テーマ	講 師
9月29日(水)	少数民族の現在－タイにおける経験から－	綾部 真雄助教授
10月6日(水)	ジェンダーの歴史学	竹内 敬子教授
10月13日(水)	豊臣秀吉像をめぐって	池上 裕子教授
10月20日(水)	アメリカを見る眼－大統領選挙をめぐって－	中里 明彦教授
10月27日(水)	比較文化研究の現在－中国と日本の文化交流－	石 剛 教授
11月10日(水)	ヨーロッパの世紀末芸術	三浦 國泰教授

講座情報3

大学公開講座

各講座とも事前申込みの必要はありません。会場に直接ご来場ください。

自由大学履修対象科目である公開講座

当日、会場に出欠をとります。

●日本獣医畜産大学後期総合文化講座●

自由大学履修対象講座
3回以上出席で0.5講座

総合テーマ:現代人のスポーツと健康

回	期日	テーマ	講師
1	10月 8日(金)	新しい時代の健康づくりと運動	小林 寛道 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
2	10月 22日(金)	中高年登山と山岳事故発生	高山 守正(日本医科大学第一内科講師)
3	11月 19日(金)	肥満予防と運動	武藤三千代 (日本医科大学スポーツ科学助教授)
4	11月 26日(金)	レジャースポーツと健康	濱部 浩一 (日本獣医畜産大学運動科学助教授)

■時 間:午後4時20分~6時(各回とも)

■会 場:日本獣医畜産大学 第一校舎第4号棟第312講義室(境南町1-7-1)

■定 員:100名(先着順) ■費 用:無料

問合せ 日本獣医畜産大学 地域社会生涯学習委員会

電話 0422-31-4151(内線344) E-mail:kobama@nvau.ac.jp

ご興味のある方はぜひご参加ください。以下は自由大学履修対象科目ではありません。

●東京女子大学 特別教養講座●

■テーマ:「多様性と共生への視点ー世界で・社会で・家庭でー」

■講 師:原田明夫(前検事総長)

■日 時:10月5日(火) 午後2時55分~4時25分

■会 場:東京女子大学善福寺キャンパス 安井てつ記念ホール2階(杉並区善福寺2-6-1)

■費 用:無料 ■申込み:不要(直接会場へお越しください。)

●東京女子大学 シンポジウム●

■テーマ:「安井てつ記念シンポジウム」

■日 時:11月19日(金) 午後1時15分~2時45分

■会 場:東京女子大学善福寺キャンパス 安井てつ記念ホール2階(杉並区善福寺2-6-1)

■費 用:無料 ■申込み:不要(直接会場へお越しください。)

■パネリスト:松岡勵子(劇作演出家) 鳥山明子(牧師) 根岸愛子(東京女子大学名誉教授)

小川智瑞恵(研究者) コーディネーター:湊晶子(東京女子大学学長)

問合せ 東京女子大学 教育研究支援課 03-5382-6470 URL:<http://www.twcu.ac.jp>

■自由大学ホームページの「掲示板」をご活用ください！

自由大学で学んでいて、自分の受講した講義をみなさんに紹介したい、こんな面白い講座をみつけました、先生の熱心さに感銘を受けましたといった講座についての感想を自由大学のホームページ上で募集しています。ぜひお気軽にご活用ください。

いただいた投稿を紹介します

■ RE：受講して面白かった講義は？

ニックネーム Chappy-mam

作成日時 :
2004/06/07

昨年度、成蹊大学・文学部の『コミュニケーション論』を通年で受講しました。今年度は前期・後期に分けられ、講座名が異なりますが授業内容には、変わりがない様です。担当は、専任講師の見城武秀先生。毎回、授業のレジュメを用意しながら、参考文献も随時紹介して下さいます。毎回紹介された文献を読むと、年間で20冊ぐらいになりますがそれによって、授業に関する内容も理解が深まります。年間を通して、我々が日々交わすコミュニケーションについて<言語><メディア>の2つの観点から、考えることを学びます。特に後期には、ビデオを見ながらの授業も増えます。この授業を受けたことによってテレビ等のメディアで流される情報を見る目が、大分変わりました。

- ◆発言内容はどなたでも見ることができます。
 - ◆発言を書き込むのは自由大学生の方のみです（学籍番号と生月日で確認します）。
- ホームページアドレス・・・<http://www.jiyu-musashino.org/>

掲示板の発言の見方 ホームページトップページ⇒「掲示板」⇒「テーマ」で「受講して面白かった講義は？」（現在のテーマ）を選び⇒さらに発言欄の「■RE：受講して面白かった講義は」をクリックすると、この発言内容を見ることができます。

■健康診断書について

大学正規科目履修受付（2月）や、寄付講座受講（3月、9月頃）の際に健康診断書を提出いただいています。これは、学生と同じ教室で受講するにあたって結核の有無と健康状態の確認のためです。ご理解をお願いいたします。なお、健康診断書は、受講受付時から1年以内に受診した各市・区の健診や会社等の健康診断結果の写し（胸部レントゲン結果と総合所見があるもの）をもって代えることができます。

寄付講座や来年度の正規科目を履修するご予定の方は、年に1度の健康診断（武蔵野市の基本健診の場合は対象が満40才以上の市民で、職場などで健診を受診できない方。受診は誕生月とその翌月の2か月間です。）を受診しておくことをおすすめいたします。

武蔵野地域自由大学事務局(交流センター内)

空いた時間はTKビルへ！

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町2-5-10
TK吉祥寺ビル8階 吉祥寺駅北口徒歩7分
Tel 0422-20-6340 Fax 0422-20-6341
E-mail jyuu@parkcity.ne.jp 月曜～金曜10時～17時

